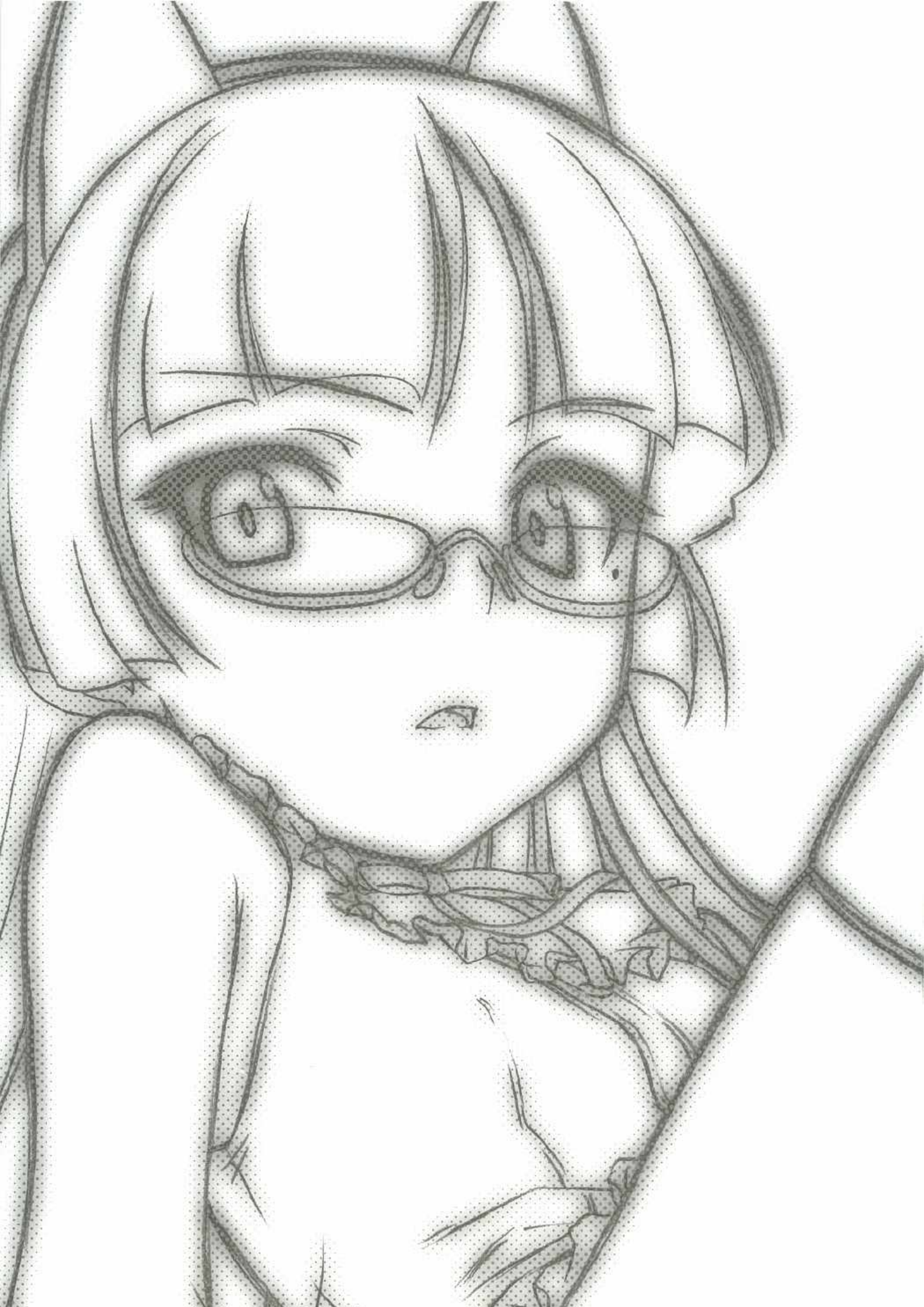


ADULT  
only!!

*Glass Cat's*





コンニチワ  
ぜんぎ& ROUTE39 です。

黒猫だよ！！  
メガネだよ！！  
メガネコだよ！！！！

やっと黒猫のラブイ本ですよっ！奥さん！！  
あー、全然放映中どころか今更なカンジですが、  
ずっと出したかったんですよ～。

ドイヒーな本は何回か出しましたが……

やっぱラブですよ、ラブ！！  
やっと出せたよ、母さん！！

とゆうわけでまた後ほど！！！！

今日の黒猫は  
いつもと少し  
違っている。

いや、イタいといえば  
イタいんだが――

そのへんはいつも通りで  
とくに問題じゃなくて

いや、いつもに増して  
イタい、とかじゃなくて。

なんというかその――

イヤむしろ俺としては  
まことにうれしい  
かぎりではあるのだが

今日の黒猫は――

眼鏡をかけているのだ。



外で会った時には別に眼鏡なんかかけちゃいなかったのだからー

俺の部屋に入るなりカバンをゴソゴソし始めたと思っただらいきなりコレなのだ

確かコイツ視力は悪くなかったと思うのだが…

今まで眼鏡なんぞかけてる所見たことないし。

…眼鏡…

…これは…何かの御褒美ですか？黒猫さん…

さっきから…

さっきから何かしら？モゾモゾと気持ち悪いのだけれど…

いや、その…

…ソレは…  
なんででしょうか？

「ソレ」じゃわからないわ

あー、その…  
…眼鏡…  
なんですがね…  
ソレはその…  
一体…



『ザラキエルの鍵』  
という魔装具よ



…このことかしらね？

ふふふ…これはね…



そういう名前なの

…名前よ。



へ、鍵？  
メガネじゃねーのソレ？



闇の眷属たる我が  
これを身につける  
ことにより  
随天使の可る  
月光の霊力を受けて

生命の生殺与奪の  
神祕を看取することを  
認許された存在として  
顕現し…

グッ グッ

グッ グッ

ククク…

はい、  
そうですか…



ヒシッ!



—つまりあなたの  
邪な精神が透けて  
見えるのよ

俺の「邪な精神が透けて見える」だと？

—そんなことよりもお前はその意味をわかっているのか？

よりもよって俺の部屋で眼鏡をかけるというコトの、その意味を—

そんなことしたら、ただでさえ可愛いお前がメガカワイくなっちゃうじゃねえかつ！

こんな状況に自ら持ち込むなんて、お前はとんでもない過ちを犯しちゃったぜ—

言つとくが俺は『眼鏡をかけてりや犬でもオツケ—』な男だぜ？

…いや、麻奈美は別だが…つて、この件は今は置いておこうぜ兄弟。

ともかく、だ—

お前はとんだ「罪作りな女」だぜ

これはもう、責任をとつてもらおうしかたのないことだな…

な、何をブツブツと考えているのかしら？





何を考えているのかしら、  
と聞いているのだけれど？

あ、あなたの事だから  
どうせ邪でろくでもない  
こと考えていたに  
決まっているけれど

どんな邪な考えかは  
こ、この「鍵」を通せば  
い、一目瞭然だわ！

じ



し、しまっ…た…  
私とした…ことが…

まさか…  
あなたの欲望が…  
こんな…

ど、どうした黒猫？



…こ、この醜く膨れ上がった  
この肉塊を使って、  
わ、わたしにどんな欲望を  
抱いていたというのかしら？

こんな…熱い…

まじまじ

近づいただけで  
熱を感じるなんて…

それに…匂いが…

これが…  
…先輩の…匂い…

ビク、

ビク…

おい…黒猫大丈夫か？

闇の…いえ、  
獣の匂いがするわ…

おぞましい程の  
暗黒瘴気を放っている…

つか、その…  
あんま見られると…  
恥ずかしいん  
だけど…

…こんなにも破廉恥な雄のくせに、羞恥心だけは一人前なのね

そりゃあ俺だってこうマジマジと人に見られるのは初めてだし…

それに…なんつーか…

お前に見られる、つてのが…な

—こ、こんなにはしたなく大きくして…

いつからこんなにしているのかしら？

…あ…それは…だな…

なによ？はつきりと言ってごらんさい

お前と会つてる時はいつも—こうなんだ

なっツ

なっ…な…

いや、前はこうじゃなかったんだけどな

なんかお前と付き合いだしてからこう、側にいて気配を間近に感じたりすると—起っちゃうんだよ。

カアアアアアアアア



別に変態じゃ  
ねえよっ!

…と思う…



へ、へへへツツ、  
ヘンタイっつ!



ってか美人  
だし…な

なっ、なっ…?

ぼっ!



…の、脳が湧いてるの  
かしら?



それが俺の彼女で、  
毎日会って、  
ってだけでもこれが現実なのか  
よくわかんなくなるんだぜ…

そんないわば現実離れた  
感覚の中で、ふとお前の  
匂いを感じたりするとき、  
こう…



下キ下キして…な…

こう…  
ムクムク…と  
—な?

—…黒猫?

わ……

私だつて…あなたの匂いをかぐと…

…なるわ—

…濡れるのか？

バっ！  
違うわよっ！  
莫迦っ！

ド、ドキドキするつて  
言ってるのよっ！

莫迦っ！

莫迦っ！

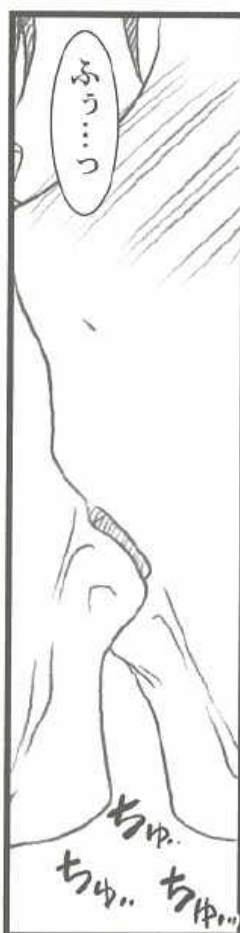
…俺…さ、  
今も…ドキドキ  
してるよ—

お前がこんなにも  
そばに感じられるし…

お前の感触が…その…  
すごく気持ちいいんだ…

…莫迦…  
…そんなの卑怯よ…

ホントに卑怯…  
…だわ…











これは…私に…  
く、口で愛撫させたい  
と考えているのね

あ、あなたはまず…舌で  
先端に走る雫を  
すくい取らせたいと  
思っているわね



くっっ…!

ぬ… るん!



うっ…



こんな…ふうだ…



れる。



そして、  
舌全体で  
何度も  
舐め上げ  
させたいと  
思っ  
ている…

キゅ…



ちよ、黒猫こらっ

よせよ

る...る...

ふっ……



うあ…あ…

れるるる…



次は…唇でこの節くれ立った肉塊をしごくように上下させたいのね？



うっ！

うあ…あ…あ…

ぬぬ…ぬ

吸い…込まれ…る！



る..ふ..



まだ、足りない、  
なんて...どれだけ食欲な  
ケダモノなのかしら...



く、黒猫ツ!  
もうやめろ!

そ、それ以上は...  
ちよつと...!



歯が...当たって!

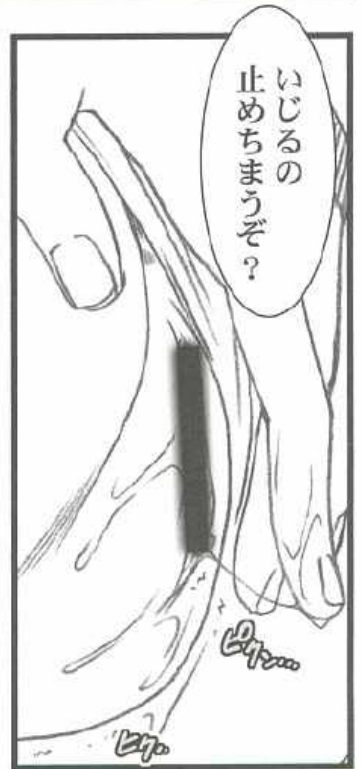
刺激...が...  
強すぎるっつ!  
も...ヤメ...てっ!



うあああつっ!

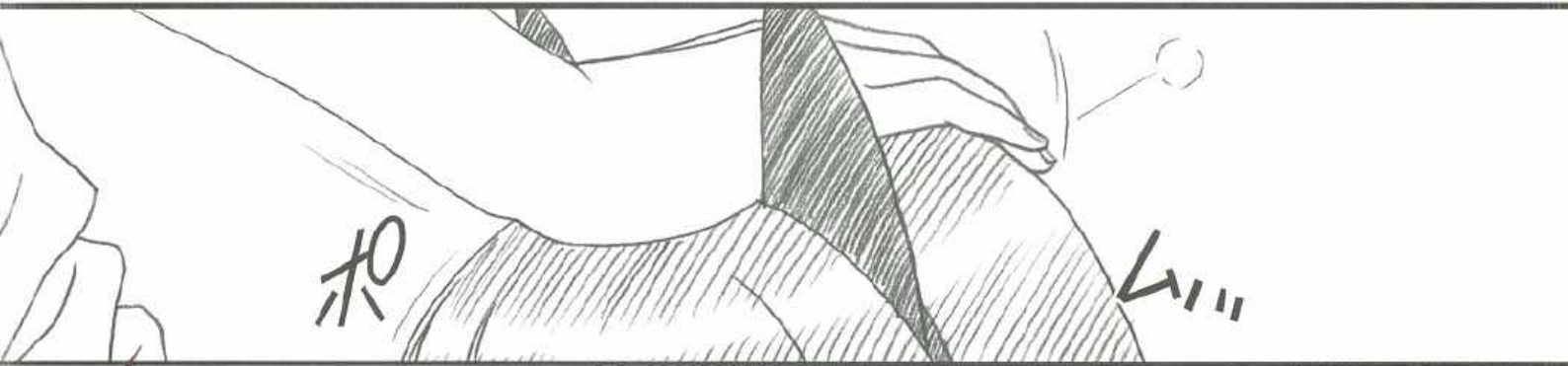






あ、あなたの部屋で  
あなたの匂いに  
つ、包まれただけで—

濡れてしまっていたのよ。



そうか

言ってくれて  
うれしいよ。

だから…

ご褒美あげなくちゃな





ごっ…褒美、とか…  
…い、いからっ…!



やつ、そん…な…



どうだ、  
気持ち良いか?



そんな「…」とっ!  
んんっ!



あ、あつ…あ、  
ひあ、ああつ…!





駄目って、  
何がだ？



…ダメ…  
…ダメ…メエ…ツ！



らっ…て、  
まだ、貴方…  
イってない、  
のに…っ！



ダメっ！  
ダメえええツ！



ヤッ！駄目ツ！



アッ!!  
アッ!!  
アッ!!

アッ!!

アッ!!

ビクン

ビクン  
ビクン

ビクン  
ビクン

黒猫…いいのか？

…貴方が  
欲望のままに私と  
契約をかわすのだと  
しても—

今の私はそれに抗う  
術を持ちはしないわ

…でもそれが—

それが今の私の…  
望みでもあるわ

キュッ



さあ：  
貴方の中の熱狂を  
開放なさい

—そして私を貴方の物に…

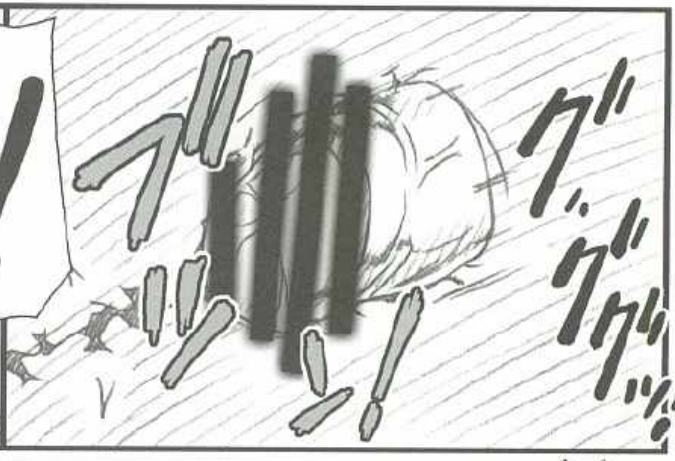
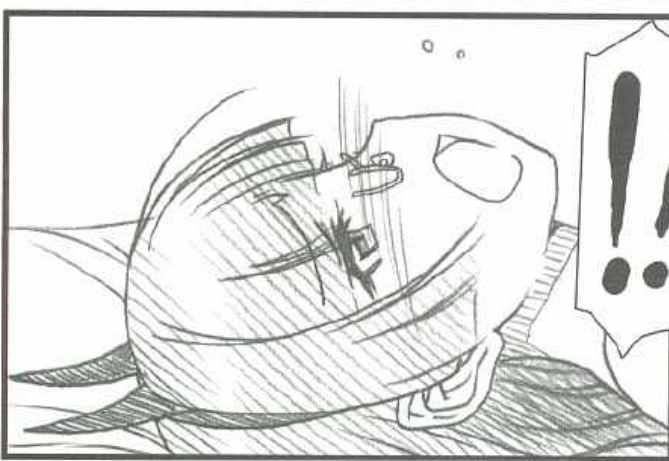


あ…あ…っ！

は…!!



んっ…!!  
あ…はっ！



あ…あ…  
んっ…あっ！

ひあっ！

ギ…ち…ち…ぎち



んあッ！

は…あッ！

ギ  
チッ…!!



ヒク..!

は...あ...  
あ...あ...

はあ...



ヒクク

ヒクク...

ヒク...

ミク



はっ

ス...ゲ...熱くて...  
—狭...い...

まず...は...貴方の望み...が...  
形を成した事を素直...に  
喜びなさ...いな



ほ

っ...黒猫...  
...入っ...た...

—どう...  
かし...ら?

血を...交えし契約  
...の...味は—

ヒク... ヒク...



ヒク!

黒猫っ!  
大丈夫か?



グ...



これも...  
まだ契約の儀の  
第一幕...の—

幕開けに...  
過ぎないの  
だけ...れ...ど...

この程度の苦痛など、  
闇の炎に身を焦がしてきた  
私にとっては何となく  
足りない痛みだわ…

ヒク

いや、でも…

…今日はどうも  
やめないか？

何を解らない事を  
言っているの？

ここまでしておいて、  
今更それはないわね

…私がこんな目に  
あっても耐えている  
のだから！

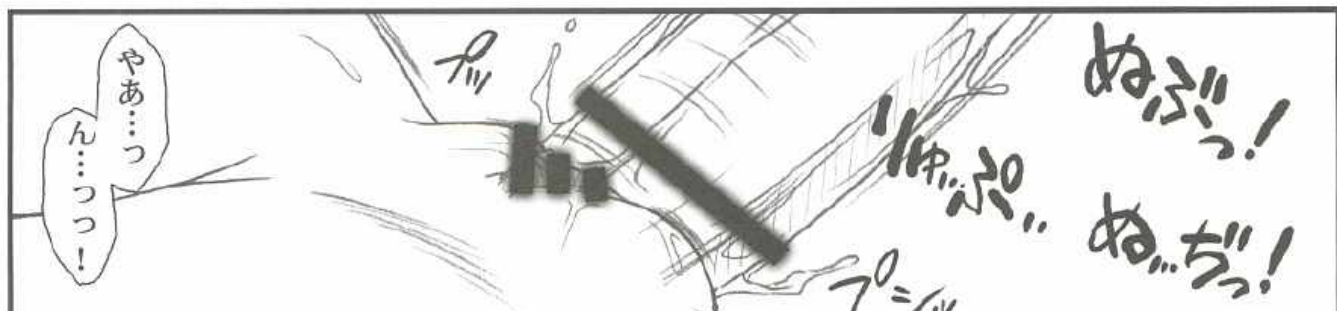
貴方はせめて  
私の身体で  
気持ち良くな  
りなさい。

これは…命令よ

………

…わかったよ  
黒猫！

す…



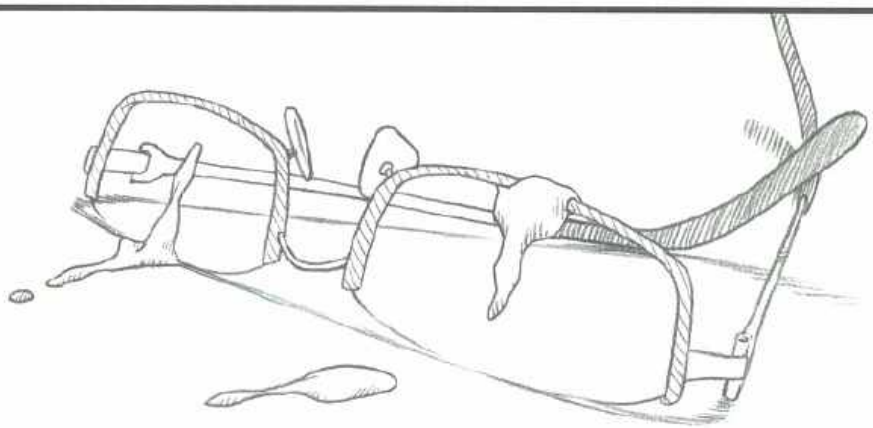












メガネツツ!!!

というわけで、今回はそんなカンジで!!

もっと黒猫をカワイク描きたいですよ…?  
なんか絵が安定しないのです……

とはいえ黒猫はまだまだ描きたいのでまた本作りますよ?  
……ラブラブもね♪♪  
……………ドイヒーもね…

あ!  
しまったっ!!  
ノースリーブのワキからピミョウに見える  
ちっばいを描き逃したっ!!

あ~~~~あ~~~~あ~

……次回は必ず。  
…夏にやれるかな…?  
やりたいな。

それでは今回はこのあたりで~。  
ではでは~。

「Grass cat's」

2012/04/30

MEKONGDELTA & DELTAFORCE

構成・作図：ROUTE39  
構成・編集：ぜんぎ  
超協力：ほっけうるふ様  
なめキング様

ありがとうございました～。

[http://homepage2.nifty.com  
/delta3/mekong/index.html](http://homepage2.nifty.com/delta3/mekong/index.html)  
e-mail: delta3@nifty.ne.jp (代理)

印刷：緑陽社

18才未満の閲覧・購入は禁止  
無断複製・複写・転載等も禁止  
ネット掲載は特にやめて下さいネ…



MEKONGDELTA  
&  
DELTAFORCE

2012

project "kuroneko -X"

ZENKI & ROUTE39  
presents